## 3.5 東京都福生市

（1）実施概要

| －実施日時 | 令和元年12月16日（月） |
| :---: | :---: |
| －作業場所 | 福生市リサイクルセンター |
| －作業時間 | 9：30～15：00（昼食休憩1時間，準備片付け含む） |
| －作業体制 | 福生市職員2名委託事業者 9 名 |
| ■調査試料 | - 2 地区，（1）東地区，（2）南地区を調查対象とする。 <br> -  2 地区合計で約 464 kg の試料から食品廃棄物（約 139 kg ）を抽出，細組成調査 を行う。 <br> －サンプルは塵芥車及び 2 t ダンプ車で収集，収集したごみは全量を調査試料と した。 |

## （2）調査実施計画

## 1）処理計画•目標等

「福生市一般廃棄物処理基本計画」（平成 29 年 3 月改定）に基づき，一般廃棄物の処理を行っ ている。
本計画では「環境にやさしい低炭素社会•資源循環型社会を目指したまちづくり」を基本理念 に掲げ，「ごみ排出量の削減」や，「総資源化率の向上」を目標として取り組んでいる。

食品廃棄物に関する施策としては，食材の使い切りや食べ残しの削減等の意識啓発を図ること を掲げ，食品廃葉物の発生抑制に配慮した行動を推進している。

また，生ごみ減量化•資源化の取組として，生ごみ堆肥化容器の無償貸与や，生ごみ減量化処理機器購入補助などを行っている。

## 2）対象とする一般廃棄物

福生市の家庭ごみの分別方法等について（図表 33）に示す。食品ロスに関する調査は「燃やせ るごみ」を対象に実施した。

図表 33 家庭ごみの出し方の概要（福生市）

| 項目 | 内容 |
| :---: | :---: |
| 家庭ごみの分別 | －燃やせるごみ，燃やせないごみ，資源物（ダンボール，新聞，雑誌•雑紙，古着•古繊維，缶，金属，ビン，ペットボトル，プラスチックボトル，硬質プラスチック，容器包装プラスチック，小型家電），粗大ごみ，枝木•葉，有害ごみ |
| うち，「燃やせるご み」の内容 | - 週 2 回の収集 <br> - 厨芥類（生ごみ，貝殻，魚などの骨），皮革製品，靴，ぬいぐるみ，ビデオ テープ，カセットテープ，ホース，歯ブラシ，木•竹製品 など |
| ごみ袋の有料化 | - 有料化あり（平成14年4月） <br> - 家庭ごみの指定袋あり（燃やせるごみ，燃やせないごみ） <br> - 袋の価格 10 枚 1 組（内税）ミニ袋（5l）：70円小袋（100）：150円 <br> 中袋（200）：300円 <br> 大袋（40り）：600円 |
| その他 | －容器包装プラスチックの収集あり（食品トレイ，発泡スチロールなど）週 1回 <br> －雑紙の収集あり（紙パック，紙箱，包装紙，シュレッダー屑など），週 1 回 |

## 3）調査対象地域•採取方法等の検討

市内を 4 つの収集地区（東地区，南地区，中央地区，西地区）に分けており，このうち調査当日が燃やせるごみの収集日である（1）東地区，（2）南地区を調査対象地域とした。

調査日当日の朝，家庭から排出された「燃やせるごみ」を（1）東地区は市職員が 2 t ダンプ車 1台で，（2）南地区は家庭ごみ収集運搬委託業者が塵芥車により収集。

## （3）調査結果の概要

## 1）試料中の食品廃棄物の割合

調査対象とした試料について（図表 34），2 地区の合計で 183 袋， 464 kg であった。地区別に見ると，（1）東地区が 49 袋，106kg，（2）南地区が 134 袋， 358 kg であった。

図表 34 調査対象とした試料概要（福生市）

|  | 袋数（個） | 重量（kg） | 容量（L） | 袋あたり |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  |  |  | 重量（kg） | 容量（L） |
| 合計 | 183 | 464 | 3，530 | 2.5 | 19.3 |
| （1）東地区 | 49 | 106 | 1，180 | 2.2 | 24.1 |
| （2）南地区 | 134 | 358 | 2，350 | 2.7 | 17.5 |

※合計は，2地区の調査結果を足して算出したもの

試料中の食品廃棄物の割合について（図表 35），2地区の合計では $30.0 \%$ ，地区別に見ると（1）東地区が $36.1 \%$ ，（2）南地区が $28.2 \%$ となっている。

$$
\text { 図表 } 35 \text { 試料中の食品廃棄物の割合 (福生市) }
$$


（単位：kg）

|  | サンプリング試料 <br> A | うち，食品廃重物 <br> B | 食品廃棄物割合 <br> $\mathrm{C}(=\mathrm{B} / \mathrm{A})$ | 食品廃棄物以外 <br> $\mathrm{D}(=1-\mathrm{C})$ |
| :--- | ---: | ---: | ---: | ---: |
| 合計 | 464.17 | 139.22 | $30.0 \%$ | $70.0 \%$ |
| （1）東地区 | 106.12 | 38.28 | $36.1 \%$ | $63.9 \%$ |
| （2）南地区 | 358.05 | 100.94 | $28.2 \%$ | $71.8 \%$ |

[^0]
## 2）食品ロス（直接廃葉，食べ残し）の割合

食品廃棄物のうち，調理くずを除く，直接廃棄及び食べ残しを食品ロスとする。食品廃妻物のらち食品ロスの重量割合について（図表 36），2地区の合計では $39.9 \%$ ，地区別 に見ると（1）東地区が $47.9 \%$ ，（2）南地区が $36.9 \%$ となっている。地域ごとに食品ロスの割合は異な り，（1）東地区の食品ロスの割合は，（2）南地区よりも 11 ポイント多い。
直接発重に着目すると， 2 地区の合計では，まったく手付かずの直接廃棄（ $100 \%$ 手付かず） は，食品廃棄物のうち $15.9 \%$ を占めており，（1）東地区が $15.4 \%$ ，（2）南地区が $16.0 \%$ となっている。
同様に，食べ残しに着目すると，2地区の合計では $18.4 \%$ ，（1）東地区が $25.8 \%$ ，（2）南地区が $15.6 \%$ となっている。

図表 36 食品ロス（直接廃棄，食べ残し）の割合（福生市）


|  | 食品ロス割合 | らち直接廃棄（手付かず） |  |  | うち食べ残し |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  | 100\％手付かず | 50\％以上残存 | 50\％未満残存 |  |
| 合計 | 39．9\％ | 15．9\％ | 4．0\％ | 1．6\％ | 18．4\％ |
| （1）東地区 | 47．9\％ | 15．4\％ | 4．2\％ | 2．5\％ | 25．8\％ |
| （2）南地区 | 36．9\％ | 16．0\％ | 3．9\％ | 1．3\％ | 15．6\％ |

※合計は，2地区の調查結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

## 3）直接廃棄されたものの消費•賞味期限について

直接廃棄（ $100 \%$ 手付かず）の消費•賞味期限の記載状況•期限について（図表 37）， 2 地区の合計では「表示なし」が最も多く $68.7 \%$ であり，消費期限の表示があったものは $13.1 \%$（期限内 が $0.6 \%$ ，期限切れが $12.5 \%$ ），賞味期限の表示があったものは $18.2 \%$（期限内が $8.6 \%$ ，期限切 れが $9.6 \%$ ）となっている。

消費期限に着目すると，「消費期限内」のものが直接廃棄（ $100 \%$ 手付かず）のうち $0.6 \%$ ，地区別に見ると（1）東地区はなし，（2）南地区が $0.9 \%$ であった。

賞味期限に着目すると，「賞味期限内」のものが直接廃棄（ $100 \%$ 手付かず）のうち $8.6 \%$ ，地区別に見ると（2）南地区が $11.5 \%$ で，（1）東地区の $0.7 \%$ より高くなっている。

図表 37 直接廃棄（ $100 \%$ 手付かず）の消費•賞味期限について（福生市）


|  | 消費期限 |  | 賞味期限 |  | 表示なし |
| :--- | ---: | ---: | ---: | ---: | ---: |
|  | 期限内 | 期限切れ | 期限内 | 期限切れ |  |
| 合計 | $0.6 \%$ | $12.5 \%$ | $8.6 \%$ | $9.6 \%$ | $68.7 \%$ |
| （1）東地区 | $0.0 \%$ | $21.7 \%$ | $0.7 \%$ | $14.9 \%$ | $62.7 \%$ |
| （2）南地区 | $0.9 \%$ | $9.1 \%$ | $11.5 \%$ | $7.7 \%$ | $70.9 \%$ |

※合計は， 2 地区の調查結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

同様に，直接廃棄全体（ $100 \%$ 手付かず， $50 \%$ 以上残存， $50 \%$ 未満残存）での消費•賞味期限の記載状況•期限について（図表 38），2 地区の合計では「表示なし」が最も多く 60．7 \％であり，消費期限の表示があったものは $11.8 \%$（期限内 $1.4 \%$ ，期限切れ $10.4 \%$ ），賞味期限の表示があっ たものは $27.5 \%$（期限内 $8.3 \%$ ，期限切れ $19.2 \%$ ）となっている。

消費期限に着目すると，「消費期限内」のものは（1）東地区はなし，（2）南地区で $2.0 \%$ ，「消費期限切れ」のものは（1）東地区で $15.6 \%$ ，（2）南地区で $8.4 \%$ となっている。

賞味期限に着目すると，「賞味期限内」のものは（1）東地区で $5.5 \%$ ，（2）南地区で $9.4 \%$ ，「賞味期限切れ」のものは（1）東地区で $31.0 \%$ ，（2）南地区で $14.6 \%$ となっている。

図表 38 直接廃棄（合計）の消費•賞味期限について（福生市）


|  | 消費期限 |  | 賞味期限 |  | 表示なし |
| :--- | ---: | ---: | ---: | ---: | ---: |
|  | 期限内 | 期限切れ | 期限内 | 期限切れ |  |
| 合計 | $1.4 \%$ | $10.4 \%$ | $8.3 \%$ | $19.2 \%$ | $60.7 \%$ |
| （1）東地区 | $0.0 \%$ | $15.6 \%$ | $5.5 \%$ | $31.0 \%$ | $47.9 \%$ |
| （2）南地区 | $2.0 \%$ | $8.4 \%$ | $9.4 \%$ | $14.6 \%$ | $65.7 \%$ |

※合計は，2地区の調査結果を足して算出したもの。いずれも重量ベース。

## 4）1人1日あたりの食品ロス発生量

調査結果を踏まえて，1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると $87.2 \mathrm{~g} /$ 人•日となり， その内訳を見ると直接廃棄（100\％手付かず）が $34.7 \mathrm{~g} /$ 人•日，食べ残しが $40.3 \mathrm{~g} /$ 人•日と推計 された。

図表 391 人 1 日あたりの食品ロス発生量（福生市）

（4）調査実施時の写真


調查場所（リサイクルセンター貯留棟）


組成調査の様子（計量作業）


組成調査の様子（分別作業）


調理くず（野菜•果物の皮，卵の殼など）


食べ残し


直接廃葉（ $100 \%$ 手付かず）


直接廃葉（11東地区）


直接廃棄（2）南地区）


[^0]:    ※合計は，2地区の調査結果を足して算出したもの

